

平成 25 年 度

第 2 回 輪島市子ども・子育て会議 議事録(要約)

会議日時 平成 26 年 2 月 28 日(金)13:30～14:45

会 場 輪島市役所 1 階 中会議室

出席者

委員	沢田	悦子
委員	福田	友昭
委員	藤山	壺史
委員	板谷	玲子
委員	久保	敬夫
委員	向	民夫
委員	瀬例	有子
委員	稲木	強
委員	山上	幸美
委員	大工	ゆき子
委員	大塚	日出子
事務局	田中	昭二
事務局	棟	信子
事務局	古坂	一正
事務局	細川	由仁

次 第

1. 開会
2. 議件
 - (1)輪島市における主な子育て支援事業について(現行)
 - (2)ニーズ調査の分析結果について
 - (3)事業計画骨子(案)について
3. その他
4. 閉会

会議内容の要約

1. 輪島市における主な子育て支援事業について(現行)

事務局からの説明

- 輪島市における主な子育て支援事業の内容及び実績について説明

委員からの意見

- よい事業をしているにも関わらず、利用者が数件というのはとても残念。子育て支援を必要としている方に情報が届いていない可能性が高いと思うので、広報を工夫したらどうか。母親が集まる機会を捉えて広報すれば、利用も少しずつ増えると思う。また、遊ばせるところがほしいという声がたくさんあるが、実際にあるのに使っていないのは本当にもったいない。諦めずに、しつこく広報していただきたい。

→事務局回答

チラシを置いたり、市のホームページなどで広報したい。

→回答について委員から

事業所や会社などに直接届ける方がよい。

→事務局回答

そういうふうに広報したい。問題なのは、預かってくれる保育ママの不足。事業の利用件数が増えれば、保育ママの募集が必要になる。

- 就園奨励費補助金に関しては、輪島市独自の制度になっており、国の基準よりもはるかに低い金額となっている。幼稚園も国の基準に合わせていただきたい。

→事務局回答

保育所に入った時の負担金がいくらかということで、幼稚園就学の助成金を同じ金額に合わせて出しているのではないか。輪島市の保育料は、国の基準と比べるとかなり安い金額になっている。今後検討したい。

2. ニーズ調査の分析結果について

事務局からの説明

- ニーズ調査の分析結果について説明

委員からの意見

- ニーズ調査を就学前の子どもがいる保護者に実施したとのことだが、就学前の子どもが2、3人いた場合、どちらに合わせて書けばいいのか。また、調査方法は郵送か。

→事務局回答

複数のお子さんがある場合は、年齢が一番上の子に対して調査を実施した。調査方法は郵送と、保育所に通っているお子さんについては、保育所から直接手渡した。

- 病気の時に子どもを留守番させたとの回答が少ないながらあった。サービスがあることを知らずに留守番させたということがあつたら、調査した保育所などにチラシを貼るなど、しっかり周知してほしい。

- 回収率が62.7%だが、幼稚園や保育所に協力していただいて、基本的にそちらに提出する形にしたら、もう少し回収率が上がったのではないかと。今後、このようなアンケートをするときは、施設で利用できるメニューをわかりやすく1ペーパーにして、アンケートと一緒に入れれば情報をくまなく伝えることができると思う。

→事務局回答

保護者の方に回答していただくよう、保育所の所長さんなどに何度か依頼した。アンケート以外でも全戸配布する機会があつた場合には、工夫して輪島市の支援策をPR、広報したい。

3. (仮称)輪島市子ども・子育て支援事業計画骨子(案)について

事務局からの説明

- 骨子案について説明

委員からの意見

- 基本理念や基本目標は次世代育成地域行動計画より抜粋とあるが、これらを継続していくのか。

→事務局回答

基本理念や基本目標ともに見直しを行う。

- 次世代育成地域行動計画は、子どもの対象が0歳から18歳だった。今回も同じか。

→事務局回答

子ども・子育て支援法に基づいて計画を策定するが、法律にある「子ども」という規定では、18歳に達する最初の3月31日までにあるものをいうとなっている。

- 学童保育の事業があるが、このニーズはほかの情報も入れて決めるのか。

→事務局回答

事業の現状の利用状況も踏まえて策定する。